

★漢方あれこれ★

◆ツククサ◆

太田 順康

梅雨になって、クチナシの花が芳香をはなっています。あじさいも色鮮やかに、露草が可憐な花をつけ、朝顔が咲き始めました。

◆紫陽花◆ ユキノシタ科アジサイ
マラリアにキニーネの代用品として

葉または花を10gを煎じて滓を濾し、一晩夜露にあてて服用すると瘧(オコリ)今のマラリア様の熱病に効くと云われ、江戸時代から用いられたようです。

今ではマラリア自体少なくなり、良い薬が開発されたので、薬用にはしませんが、園芸品種として人気を誇っています。雨に濡れた紫陽花を愛でるのも一興です。

◆露草◆ ツククサ科 ツククサ 鴨跖草

日本各地の道端、荒地などに普通に生えていて、夏に可憐な淡藍紫色の花をつける。おなじみの草花です。

・結膜炎に花をきれいに洗ってその絞り汁で洗眼すると良いそうですが、採集する花の量を考えると眼科医へ行った方が早いんですね。

心臓病などの浮腫に乾燥した全草を1日15gを煎じて飲むと、尿量が増えて浮腫がとれるそうです。

・ぜんそくに、生のものを

1日小皿一杯を毎日食べるか、乾燥したものを15g煎じて服用すると良いと長塩先生は



言っておられます。(漢方薬と民間薬百科から)

・腫物に生の葉のしぼり汁を患部に塗布すると良いそうです。

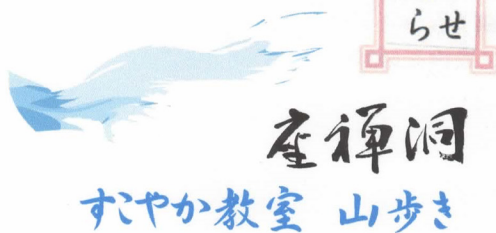
◆朝顔◆ ヒルガオ科 アサガオ 牽牛花 牽牛子

7月6～8日には東京入谷で開かれる朝顔市は初夏の風物詩です。

熱帯アジア原産で中国をへて西暦900年頃には日本の伝来していたようです。原種は小さな青色の花だったようですが江戸時代に品種改良されて今のよう

に華やかで多くの園芸品種ができたようです。
・下剤として種子(牽牛子)を粉末にして1回0.3g～1gを服用する。強い作用があるので身体の弱い人は

お知らせ



曜日と時間：毎週金曜日 10:30～

☆雨のときは、中止します。

☆お茶など飲み物を持参

<7月の予定>

1日(金) 8日(金) 15日(金)

22日(金) 29日(金)

6月はよく雨が降りました。草木がぐんぐん伸びて、しのぎ合っています。クチナシなどの白い花やアジサイが涼しげに、萩の花も咲きはじめました。

涼しい6月でしたが、7月梅雨が明けると暑くなりそうです。お茶を忘れずにご持参ください。

§ 漢方相談日

(担当 太田順康：日本漢方交流会認定漢方終身師範。
岐阜県漢方研究会会長。岐阜薬科大学「漢方学」講師)
今月の漢方相談日は、下記のとおりです。

4日(月) 11日(月) 25日(月)

§ 7月の休診日

18日(木・海の日)

§ 特定健康診査が始まっています。

実施日：6月8日(水)～10月31日(月)

対象者：1941(S16)年11月1日～1977(S52)年3月31日生
負担額：800円

持ち物：特定健診受診券、岐阜市国民健康保険証、負担額
(・後期高齢者のすやか健診は、9月からです)

服用を避けてください。

アサガオの種は私の親父が、戦後商売が左前になり、夜逃げを考えていたときにであった、真言密教の老師から「朝顔の種を研究しなさい」と言われ漢方薬に辿り着いた日く付きの薬です。私の漢方の原点です。

今でも、親父が毎日眺めては考えていた「朝顔の種」が、薬師如来やお地藏さんと一緒に祭壇にお祀りしてあります。(つづく)